

農林水産業関連

1 マンゴーの着果のばらつきが大きい

4月22～25日に徳之島町・天城町・伊仙町の3町にてマンゴー栽培講習会を開催し、農業者・関係者延べ42人が出席した。

今年産は、1～2月の気温が高かったため、2月に開花した樹は有胚果が多く、着果が安定している。3月に開花した樹は低温や日照不足の影響により着果が不安定で、不着果枝が多く見られ、大半の園地で樹による着果のばらつきが大きい。

今後、農業普及課では、着果状況に合わせた栽培管理指導を行っていく計画である。



2 パッションフルーツの日照不足による単収低下を整枝方法で挽回

4月25日に天城町にてパッションフルーツ栽培講習会を開催し、農業者・関係者延べ35人が参加した。

今年産は、3月以降に曇天や雨天日が続いたことから、日照不足により開花しなかった、または開花したが結実しなかった部分が見られ、平年より単収が低下する可能性が高い。ただし、新たな整枝方法であるつり上げ仕立ての栽培面積が増えており、整枝方法変更による増収効果を期待している。

農業普及課では作業性を考慮した上で、新たな整枝方法を推進している。



3 畑かん営農を推進する「畑かんマイスター」へ委嘱状を交付

5月21日に伊仙町中央公民館で、4期畑かんマイスターへ委嘱状を交付した。任期は令和6年度から3年間で、各町5人ずつの計15人（新規8人）が

新たに委嘱された。

畑かんマイスターは、畑かんを利用した先駆的な営農を実践している達人として、畑かん営農の積極的な実践活動、地域農業者への事例紹介・PR活動、行政や地域への提言・助言等の活動を行う。交付式では、自分自身も徳之島地域全体も、畑かんを利用して儲かる農業につなげたいとの抱負が語られた。

